



こむぎ通信

賛助会会報
第33号

編集・発行：麦っ子畑保育園賛助会 発行年月：2017年12月
〒252-0015 神奈川県座間市南栗原 1-4-2 TEL 046-255-7087

FAX 046-244-0023

URL <http://mugikko.org/> 賛助会費：一口 3,000 円～ゆうちょ銀行口座 00230-3-51894

～*

<想いは連鎖していく～ある卒園生のブログより～>

—園だより 12月号に加筆、修正—

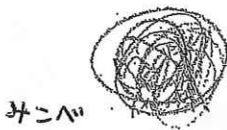
麦っ子は今年7月より、木の香り一杯の新園舎に移って認可園としてスタートしました。6/24(土)の前日祭では「新園舎お神輿」でご近所をみんなで練り歩き、翌6/25(日)に新園舎披露&40周年記念パーティーが行われました。当日は、NPO 法人どんぐりと山猫会理事の四條さんに園舎の祝福をしていただいた後、麦っ子のお友達の奈良裕之さんと麻紀さんの音入れの儀式でスタート。そしてのんちゃんのお従兄で作家の山田健さんによる記念講演「水を守りに、森へ—天然水の森の活動—」が行われました。その後の披露パーティーは旧園舎もW.S.P (園庭)も新園舎も全部使ったの歌あり、踊りあり、楽器演奏ありの一大LIVE会場になった中、古いOB.OG達が旧交を温めたり、懐かしい人との再会に話の花が咲いたり～と、目が回りそうに賑やかで幸せな一日になりました。また、園舎建築でお世話になった深建工房さんや豊国屋さん、パン工房ふらんすさん、コーヒーノートさん、へっころ谷さん、カチルさん、九州野菜のオンリーワンさん、オークランドさん、まなはれさん、カレー屋さんなどたくさんの出店もしていただいて、本当にありがとうございました。ご近所の方や保育園関係の方々なども足を運んで下さって、この南栗原という場所で地域の皆さまに支えていただいた年月の重みを、ひしひと感じた一日でもありました。今まで40年もの長きに亘り、様々な形で応援していただいた麦っ子ですが、これからは少しでも地域の皆さまにご恩返しをしていければと



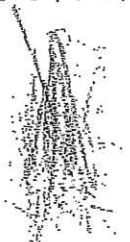
…職員だけのこ こと寺嶋乃里子画…

思っています。具体的にどんな方法がいいのか、今は方向を探っているところです。その折には皆さまのお知恵も拝借したいので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

青空にくっきりと映えて咲いていた皇帝ダリヤの花も終わって、いよいよ寒さが本格的な冬の季節に入りました。『5・5・25の法則』は、小児科医真弓定夫先生がおっしゃっている法則です。人は25日食べなくても生きていける。5日水を飲まなくても生きていける。しかし、空気は5分間吸わなければ死んでしまう。これほど大切な空気を不自然に加工してはいけません。一麦っ子の園医として長年健康診断や講演会に来ていただいた真弓先生ですが、いつも「人間は何千種類もの哺乳動物の中のヒト、という動物で、自然の中の一部なので、野生の動物に学んで生活するのがいいのですとおっしゃっていました。そして「私達はヒトという動物でサルに近いので、サルに学ぶとよい。サル山を見てごらん下さい。一匹だけで遊んでなんかいませんよ。みんな群れをなして遊んでいます。だから子どもは出来る限り薄着で、群れをなして外遊びが基本なのです。室内で一人で遊ぶのは遊びとは言いません。集団遊びの中でこそ子ども達は育っていきます。もっと大切なことは心の問題です。親の姿を見て子どもは育っていきますから、〇〇をしなさい、とか〇〇をしてはいけないと言っははいけません。子どもにしてほしいことを親がすればいいのです」—しなさい、してはいけないを言わない子育て（真弓先生は子育て、とおっしゃいます。子どもが自分で育っていくこと）これはなかなか難しいことですが、いままで10言っていたら、半分に減らすことから始めてみてはいかがでしょう？そしてできるだけ薄着で過ごしましょうね。一昔前の子どもから見ると、厚着の子が増えているのはとても残念です。マンション暮らしの子は概して寒がりですから、麦っ子はとても寒く感じるのですね。もっとも、ランニングシャツにベストという子や、ずっと半そで半ズボンの子もいますから、身体の慣れもあると思います。これからの季節、手足を冬の空気にさらして存分に遊んでほしいと願っています。



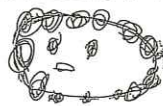
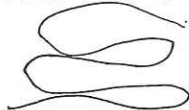
のんちん
た子ん



さて、長いことお世話になったプレハブは、12月初めに取り壊されました。何日ももってカレンダーを作った太陽達、新聞ちぎりをして紙粘土を作った雲・虹達。チーム決めをしたり、いろんな話し合いをしたり…。その年々でさまざまな作業してきたデカ部屋。言葉では言い尽くせないたくさんの思い出がいっぱい詰まっているので、取り壊しはとても残念ですが、耐久年数もあることなので仕方ありませんね。2階の病児室と事務室もお引越してしたから、てんやわんやの

大騒動！！カッチャンとオダッチがバリバリ荷物を旧園舎に運んでくれました。旧学童が物置になって、そこに古い日誌やら書類やらが運び込まれています。そんな中から3期生のYちゃん書いたブログが出てきました。今から10年前のそのブログの中で、オーストラリアで環境教育を学ぶために留学していたYちゃんが、自分の小さい頃の自然や環境問題に関する記憶が、不思議なことに本当に鮮明に思い出されると、自分の原体験について書いています。

彼女は留学先で「小学校に上がるまで自分の名前を書いたことがなかったから、小学校一年生の時、初めて文字を習った。小学校以前は、猿みたいだった」と話してとても驚かれたといひます。そして「小学校1年の時に文字が書けなくても、現在大学院で学んでいることを考えると大した問題ではないようだ。算数や文字を勉強しなかったが、私の幼少期は、自然が先生だった」と書いて、麦っ子での生活について触れています。麦っ子が自然教育だったこと。子どもを管理しないこと。食事がオーガニックだったことなど、当時としてはとても先進的な保育園だったと振り返ります。泥んこになったり、野山を駆け回ったり、登山（大山登山）をしたり、海で泳いだり、絵を描いたり、マラソンをしたり、本当にのびのびと育ったこと。年上の子が年下の子の面倒をみることや、みんなで協力しなくてはいけないことなど、生きる力を学んでいた保育園だったとー。ある日、麦っ子のHPを見て、「この保育園を巣立った子ども達がいつか社会を変える力になると思いますが」とみこべが新聞のインタビューで答えているのを読んだそうです。自分は社会を変える力になって全然なれていないし、なれないだろうが、何かしないといけないということは、ずーっと考えてきたから、麦っ子の自然流育児はある意味成功なのでは？と書いてくれました。日本にもこんなすごいものがあります！とオーストラリアの環境教育関係者を驚かせたいとも。「私の通っていた保育園は、自然保育というスタイルをとっていて、森や、山や、川、海、沼地、崖。本当にいろんな自然の場所で、ただ、ただ、動物のように駆けまわったり泳いだりする。この体験は、20年以上たっても、鮮明に思い出す。とても楽しかった。自然は私の一部だ。子どもころ、そう感じた。今でもそう感じる」ーあのYちゃんが大人になって、こんなことを発信してくれていた……！麦っ子はまさに、サルのように群れをなして自然の中で遊んできた保育園だったんだ！Yちゃんのブログを改めて読み返した時、鳥肌が立ったのです。真弓先生がおっしゃっていることを、Yちゃんが見事に表現してくれた…！！今回、奇しくも、『甦れ、生命の力～真弓定夫ドキュメンタリー～』と『いただきます～味噌をつくることもたち～』という2本の映画に麦っ子が登場したことが、パーッと繋がったように感じた瞬間でした。



先日の『甦れ生命の力…』の上映会后、「麦っ子みたいな保育園が近くにある

といいのですが」と、保育園で働いている保育士さんと調理員さんがみこべに話しかけてくれました。なので「2人いれば、自分達で保育園が出来ますよ」とお返事しました。だって、麦っ子はたった1人の赤ちゃんをお預かりしたことからスタートしたし、その時の職員は2人でしたから。他にも上映会のスタッフの中に「保育園を作るのが夢です」という人がいるし、麦っ子の職員だったアイちゃんは、虹色畑をご夫婦で営んでいて、『いただきます』の映画を観た後電話をしてきて「みこべ～、私、畑の保育園を作りたいんです。畑の野菜を中心に、種まきをしたり収穫したりして保育するのが夢なの」と言うじゃありませんか！！今、改めて、映画の持つ力の素晴らしさに、胸が震えるほど感動しています。麦っ子を取り上げていただいたことに心の底から感謝しています。岩崎靖子監督、VIN OOTA 監督、本当にありがとうございました。これらの映画が、日本中、世界中に広がって、自然を愛し、ただただ動物のように遊び、食べ物を感謝していただく子ども達が増えますように。そしてその子ども達が、「いつか社会を変える力」になりますように。

「私達は簡単に現実的になれる。そして、大人が、子ども達の持つ不思議をすぐ奪ってしまっている。子ども達にはファンタジーと自然の中で、実は人間も動物なんだと感じる遊びの体験がもっと必要だ」—Yちゃんのブログより—

(みこべこと麦っ子畑保育園 園長 大島貴美子)



必読!!

麦っ子大辞典

でも通
あなたも
これあま

毎月の園だよりで 取真 寺嶋たけのこちゃんが、
連載している 大好評の コーナーです。

麦っ子大辞典 その 94
BY たけのこ
「新園舎でのくらし」

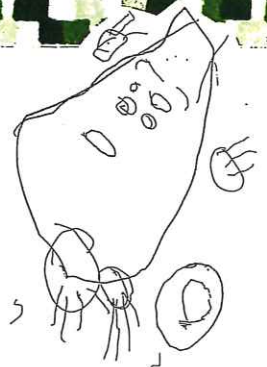
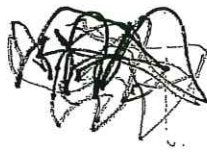
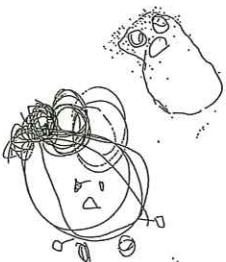
7月から新園舎に活動の拠点を移してから早一ヶ月、お昼間しか来れない私ですが、それでも少しづつみんな動きやすさを追求して新しい場所をより使いやすいく空間にしているように見えます。ビュウクながら、大ストイレに小枝のペーパーホルダーをつけたり、台所の柱に時計を取り付けたり、私もできることを協力してやっています。まだまだ事務室など安全引越とはなっていないようですが、超多忙を乗り越えて少しづつ、片付けられて行くのでしょうか。がんばれ麦っ子!!

さて、新園舎になってから、台所のお仕事をしてみて思うことが、それは、ニニから、よく子どもたちの様子が見えること。特に、一番手前のスペースにいるデカたちの姿がよく見える。以前の園舎からはWSDP(ウェストサイドパーク)で遊んでいる所と、夏のフールの様子はよく見えて

いたのですが、今度は日中の保育はもちろんなこと、何もしてない自由の時間を「デカたちが遊びます姿も見ること」ができる。フールの前のミト私か洗い物をしていると、デカの水筒置手場へのすけ君が一人、水筒のフタを開けて、飲んでいるのかわいなのかわとなく口につけている。お水の水筒、ほんとにのすけの...と曲げながら見ていると、のすけ、そのフタをゆるく閉めるんだか閉めないんだかして床に倒して立ち上がるうとこいる。あー、ニニは私の出番かな、行こうかなー...と思っていたところへ、突然右手(玄關方面)からダダダダとりんちゃんか走ってきて、その水筒のフタをちゃんと開けて、のすけを後ろからかかえて立ち上からせた。そしてう今度は、ほたろう君が登場して徐々に着来合したかった「デカの集まる(右手のロッカー前)の方向へのすけ君を移動させてくれた。そしてたら次にわっかちゃんか立っているのすけをみんなの中に坐らせてくれた。坐りたまのすけはわっかの髪の毛を引っばったけど、わっかは泣かなかった。デカ、スゴイ。



園だより '17.8月号より



バザー ありがとうございました!

11月19日(日)、麦っ子畑保育園のビッグイベント『ザ・バザー』が無事に終了されました。
お天気にも恵まれ、多くの方にお越しいただき、大盛況(笑)大人も子どもも笑顔溢れる
一日となりました。お越しいただいた方々、ご協力いただいた地域のみなさま、皆様どうもありがとう
ございました。お父ちゃんお母ちゃん学童の子ども達、職員さん、みんな大活躍でした。ね。

今年は認可園となり新園舎となり初のバザー『チャレンジ・ザ・バザー～麦っ子らしさと新しさ～』をスローガンに新園舎と旧園舎、園庭を一杯使って
たまたまお店にゲームや映画、学童の劇などお楽しみも盛り沢山。当日の様子がどんなだったか!? どうぞご覧下さい。

旧テカ部 & 旧病児室



2Fは映画(無料!)
あははっ
わははは
OB会の劇のおかげで
映画の客入りが悪かったByゆうし
ふら〜と少年がやってきて、野菜を(ごくり)見て外まげとあと200円しかない
と言いつつ、どうしようかとと悩んでいたら、最後の200円で野菜を買ってくれました。その少年の名は、澤井くん! ありがとう!

旧園舎(現学童部屋)



日用品
日用品とにも
大勢のお客様が来てくれました。
これ半額になり
ないから〜と活気
ある声が飛び交いました。

新園舎



100円ショップ
お買い得コーナー
バザー大好き! 佐藤歯科
医院の佐藤先生。
お買い得コーナーに
何度も足を運び
たことお買い上げ
ありがとうございました!



学童の
とろ焼
OBゆきこ、
魔法のタレも
20個以上お買い上げ
お母さんに頼まれたって。

輝くケーキ達の奥で、ひっそり焼きながら
甘いお菓子を漂わせていたのわかりましたか?
途中油断して焦げてしまった。おうちに
個性があったり、まだまだ作業中
じら焼き屋でしたが、お客様の
美味しかったーの声
が、励みになりました。
お母さん

1Fは学童の劇(08)

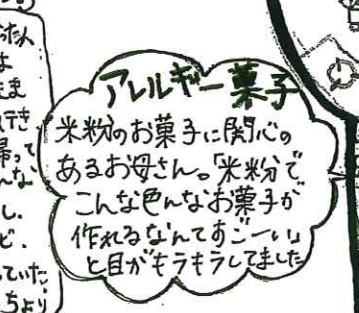
ポニーダンス!!
『おぼろ』『かきいおきさま』
『うめたろうのうしろ』2回
公演しました。『かきい
おきさま』で出てきた
四角いじがも。作る時に
じがの形がイマイチで、この
日は四角いじがが流行ることに
したそう...



古本
バザー前にあきさつしていた
ポンポンすきのゴムをわい
思ったまな、めくらが作られた
バザーで買えることを知り、置
いておいた。



アールキ菓子
米粉のお菓子に関心
あるお母さん。米粉で
こんな色のお菓子が
作れるなんておもしろ
と目がキラキラしました。



やきそば
早くにお金のなさを
多数... 中には
ラムネを置いたまま
お母さんを探りに行
ずいぶん長いこと帰
来ず、その間、い
んがラムネを押し
大分減らした。サ
普通にお客を取
あつより



喫茶室
今年は一客300円
セルフで取
買う形式で
流水がスムーズ
好評です!



**およろしく
古着コーナー**
今年も多くの
OB達がバザー
に来ておました。
喫茶室の
お母さん達と
お話しして
お楽しみ
ください。



おもちゃ屋
ピンクの乗るこま
揺れる口の遊具。
バザーで売れ残り
ミニバザーでも残り
まっ子で今大大人気!



ゲーム
鳥ざらめ100%の
大人気のわたあめ。
学童の子どもで
1人10本買った
人も...



わたあめ
看板がわりなわたあめの木
テイルの中で
こうたんの焼きそばが
こぼれた! なついで
ないから大丈夫とみん
なで持ってあげたそう。



のみもの・おつまみ
テイルの中で
こうたんの焼きそばが
こぼれた! なついで
ないから大丈夫とみん
なで持ってあげたそう。



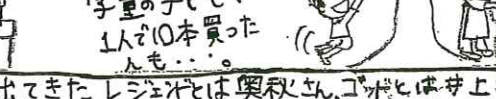
**小穴きこみじかん
おかし**
50円(かきいあせと、50円)
お芋をオーブンで焼く
おすめするだけ
結局お芋は買わず
同じチームのわが子が
になって買えるのを
探していました!



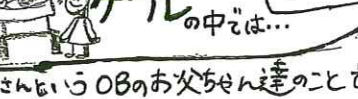
今年も多くの
OB達がバザー
に来ておました。
喫茶室の
お母さん達と
お話しして
お楽しみ
ください。



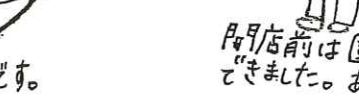
ゲーム
鳥ざらめ100%の
大人気のわたあめ。
学童の子どもで
1人10本買った
人も...



わたあめ
鳥ざらめ100%の
大人気のわたあめ。
学童の子どもで
1人10本買った
人も...



わたあめ
鳥ざらめ100%の
大人気のわたあめ。
学童の子どもで
1人10本買った
人も...



わたあめ
鳥ざらめ100%の
大人気のわたあめ。
学童の子どもで
1人10本買った
人も...



わたあめ
鳥ざらめ100%の
大人気のわたあめ。
学童の子どもで
1人10本買った
人も...



わたあめ
鳥ざらめ100%の
大人気のわたあめ。
学童の子どもで
1人10本買った
人も...

*おこのみやきのエピソードで出てきたレジエとは奥秋山、ゴザには井上さんというOBのお父ちゃん達のことです。

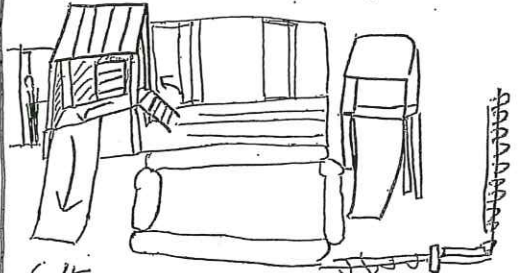
温故知新

発案者
近藤陽太くん画

記憶を
頼りに
描いてくれ
なければ
新園舎が
建つ前の
光景を球!
カサ立に
カサが
入ってるが
リプル(笑)
置き傘が
多い様子...

(作ろうと思ったきっかけ)

まさかいたんをのぼってくつをとこから
すべり台からおりていくつをぼく
これが楽しめると思った。



(作っているときの思い出)

トノカチで手をうってしまつた手をさぐさおほ
てる。

(作っているときの思い出)
太陽でこぼれさつていたときか
わくおもしろ。

インパクトが上手な人、カナヅチが上手な人、
ペンキが得意な人... よく協力してました...
完成間近に私が熱を出し欠席。おっちゃん
一緒にやってくれたけど、「めどあり、少しでも来た方が
良い!」とペロからTELが鳴ったのをよく覚えています。

すべり台や絵をかいたのが
楽しかった
けいこ

大きおぎにたっていたの... でもすごく楽しい日々でした!
お部屋からくつ箱を見るとカマクラが見えます。
部屋からチビが喜ぶように描いてあげたけど...
チビに気づいてたか? 当初遊び場だった
けど、今は学童の物置にたっている? 1F...
めどあり



卒園製作発表会

2013年度
第32期生

「チビが遊ぶ
2階建てのくつ箱」

歴代の作品を見て回ると
絵を描きたいって人の多い中、
「チビが(下で)遊ぶ2階建ての
くつ箱」をやりたいたいって声が出て、
それじゃ2Fからはすべり台でおりよう!
等々、どんどんアイデアが出てきまじ。
チビを喜ばせたいという気持ちと
自分にも楽しみたいという気持ちが
見事にマッチして卒園制作により
まじに当時学童の大人達にお
おっちゃんの下、ワイワイ作りま
したが、屋根の色は一人1本ずつ塗って
それぞれ1本ずつインパクトで打っています。

そつせんせいさくで一番
楽しかったのは、屋根にペ
ンキで色をぬるのが一番楽
しかったです。色とりどりに
きれいにぬれたのでよかったです。



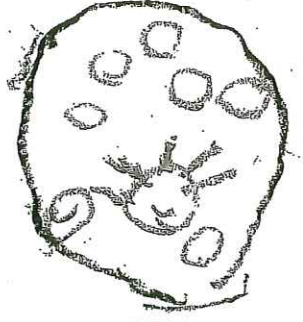
みんなで協力してできてよ
かったです。と思います。

岡田果子



「東」だより
好評連載中

ごちが ごちが論



17.10月号より

「ごちが論」の49「伝言ゲーム」へ

虹・太陽組の合宿報告会の時のこと。親の皆さんは新園舎で、子どもたちは旧園舎で。子どもたちも、テニールが足りなかったの、イスを並べて

テニールがわりにして夕食を食いました。その後時間があり、なうご二列に並んでいたの、伝言ゲームをやってみました。普段よくしゃべる人、

べらべらの人、滑舌の良い人、悪い人、千ピ、テカ、学童大人も混じっています。まずは練習、二チーム対抗、

「リンこ」「みかん」「チューチューアイスこおたんこ」などでやってみました。耳元でささやく、大声を言う、ちびたちの前後の人は、一緒に言っていてあげる。まず

まず、二チームともうまく伝わり上出来。いよいよ最終問題、「うさぎとカメ」一チームは学童や、テカが効かたせいか、すんなりと、もう一チーム、〇〇〇

のすけ、れん(天人)ゆゆういち、こうたん、よすけ、ひかる、〇〇、〇〇、〇〇、すまさん、金ご、おぼえてない、れんの時点で、「おさけとカレー」になっていたそう。ようすけ、普段よくしゃべるのに、「ゴニゴニ」言っていて、ひかる、イライラ、「えっ、なに？」ひかる、想像で伝える。

その後、「めさきとカレー」を経て最後は「まさきとカレー」でした。大ウケ。それにしても「うさぎとカメ」昭和なお題だった。



ごちが論 番外編

映画「蘇れ生命の力」小児科医「真弓定夫」の誠実会に行ってきました。麦っ子の様子もたくさん見てきますよ。治る力、生きる力はすべてあなたの中にある。

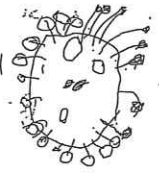
あらためて、真弓先生は、すごいと回りました。麦っ子のシーン、太陽組こう君が二年前お母さんと一緒に初めて麦っ子

に見学に来た日。泣きながらお散歩に行くと、お母さんが「白米しか食べない人です」と心配そうに話された

ことが紹介される。そして二年後、アレアアの「テカベヤで、ごはんを食べてる」シーン、おさらを直に床に置いて

所せましとみんなでご飯を食べている。(「テカベヤでおさらを床において食べる」ことなんて、めったにはないのに、映画はなっていました)「めかるさんがこう君に

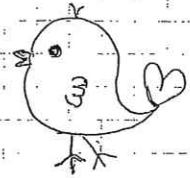
「ごほうを食わせて、こう君バクッと食べてムシムシ、その瞬間「ごほう」ってめかるさんの声、なかなかおもしろいシーンでした。それにしても映像でみる麦っ子の様子「ごちが論」がすこい。



17
8月号より

祝 麦っ子畑保育園 40周年

佐藤 セズ子様
(元職員)



また、かわいい麦っ子の
園児さん達にお会い
できすように。

人形劇団 桜でんぶ
金川 クミ様
(みこへ友人)

子どもたちのために
いつもありがとう
ございませう。これから
よろしくお願ひ致し
ます。

樋口 正夫様
(麦っ子畑園)



麦っ子40周年 & 新園舎

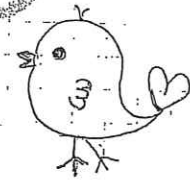
& 認可スタートおめでとうございます
いませう。これからも 子どもたちの
笑い声、笑顔あふれる麦っ子を
応援しております。

野並 文朗様
(在園児保護者)

免疫ビタミンLPSが豊富な
「金芽米」(東洋ライス)を子ども
たちにも高齢者にもおすすめ
します。とても美味しいです。
割安です。
インターネット、電話で直接注文
できます。お試しください。

県央給食 笹本宗壽様
(麦っ子のファン)

賛助会員のみなさまからのメッセージ



我が家の孫も
小学生になりました。
新園舎完成
おめでとうございます。

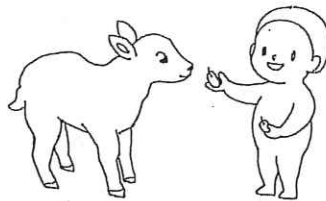
鍼灸院の患者さん
勝又 佐都子様

年々環境が悪くなってい
る中、子供達のために本を
1冊読んでみませんか？
「新時代の子どもたち」
メグ・ブラックバーン・ロニシー著
石原まどか訳
ヒカルランド

みこば友人
高橋 典子様

卒園生母
増田 悦子様

みんなの
やくに たつこと



Justice

正義ってなあに？
平和ってなあに？

正義とは
みんなのやくに たつこと
平和とは
みんなでなかよくくらすこと
子どもたちの未来が
明るく 幸せでありますように

麦っ子の子どもたちは
ことばの意味を考えました

☆ ☆ ☆ ☆ ☆
・ 私たちが家を
・ 建てようとしている
☆ この敷地を祝福
☆ してください
・ この場所が あなたの ☆
・ 慈しみとまことがめぐり合い
正義と平和が 出会う 祝福
されたところとなりますように
(新園舎竣工前の地鎮祭より)

いつも賛助会をご支援くださりありがとうございます。

麦っ子畑保育園賛助会は2000年8月、園児達がよりよい環境で生活できるよう、少ない助成金では如何とも如何ともしがたい施設や設備を充実させるために、みなさまからのご支援を仰ぎたく発足しました。おかげさまで7月より認可保育園としてスタートすることができました。これまでご支援していただいた皆さまに、心からお礼申し上げます。つきましては、今後の助成会費を園舎建設にかかった費用の補填に代えさせていただきたいと思っております。これからもどうぞよろしくお願い致します。

2017年6月～2017年12月までに集まった賛助会費は **142,000円** でした。ありがとうございます。賛助会費は1口3,000円から申し受けております。皆さまの変わらないご支援、ご協力をお願い致します。

「温かい場所」

編集後記

麦っ子と出会ったのは今から4年前。故郷である鹿児島から上京してからの頃で知り合いもいなくて家族も友人も鹿児島だったため、主人が帰るまでは朗とずっと2人の生活だった。外へ出る気持ちが出ず毎日0才だった朗と泣いて過ごす日々の中、たまたまホームページで麦っ子を見つけ見学へ。見学へ行くと、私の中では新宿・横浜などのイメージがある神奈川には思ってもみないととても温かな雰囲気、実家に近い和気あいあいとした場所にとっても心を惹かれ、入園させていただいた。

入園後すぐ、「合成洗剤は使わない」「野菜中心の食事」ほど助言をいただいた時は、私自身、仕事でも保育に携わっている1人の人間として驚いたが、何より自分が無知だったことにとっても驚いた。たくさんのお話をいただきながら生活を改善していく中で、現在4才の朗は冬でも半袖1枚で走り回り笑顔も増えた。現在は、種村も麦っ子でお世話になっている。

毎日、「おかえり〜」と笑顔で迎え入れて下さる麦っ子職員にとっても感謝している。そして何より、麦っ子に通う子ども達の笑顔がとっても素敵で、デカがチビを、チビがデカを、デカ同士、チビ同士、みんながお互いを気にかけていてとても素晴らしい。また、親参加型の行事も多く、親同士の交流も深めて下さっている。故郷から上京した私が欲していた「人と人のつながり」を与えて下さった麦っ子。私にとって、かけがえのない「居場所」である。

くも組朗(あきら)とら組樹(いさ)母 吉永莉沙